

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270700248		
法人名	社会福祉法人 楽晴会		
事業所名	松園グループホーム・スカイ		
所在地 (電話番号)	〒033-0037 青森県三沢市松園町2丁目7番15号 (電話) 0176-57-5753		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 9日	評価確定日	平成 19年 11月 16日

【情報提供票より】(平成 19年 7月 31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 ~ 25,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	220 円	昼食 420 円
	夕食	380 円	おやつ 円
	または1日当たり		1,020 円

(4) 利用者の概要(7月 31日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	83 歳	最低	76 歳
		最高	88 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	みさわクリニック・黒田第二歯科・三沢聖心会病院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

併設施設と同じ建物で、外観が地域の環境に溶け込んでおり、ガーデニングの美しさが地域の憩いの場ともなっている様子が窺える。地域協力隊の体制が構築されており、介護施設への理解も得られている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回は要改善点なし。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>内・外部研修も計画的にされている。グループホーム内研修では認知症の内容にとらわれず、職員の要望する内容を研修に取り込み、更なるサービスの質の向上に繋がる事を期待したい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的な運営会議の開催がない為、市町村との連携が不足と感じられる。今後は、定期的な運営推進会議の開催を期待したい。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族の意見を十分に聞き入れ、第三者(オンブズマン)の導入にも積極的に耳を傾け利用者の生活の活性化を引き出している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域協力隊の体制が構築されており、介護施設への理解も得られている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員一丸となり、グループホームの理念の意味を理解しケアの実践に活かしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者の方への残存機能(認知症特有の症状)を理解し十分に活かしたケアの取り組みを実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域交流の理想を高く持っている。現在、交流の場を設ける機会は少ないが、グループホームや併設施設の行事等では率先して近隣住民の方へアピールを行なっている。又、利用者の散歩の付き添い時、近隣住民の方へ挨拶等を行いコミュニケーションを図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>前回の評価事業での評価内容に基づき職員間で統一した理解と改善に努めケアに取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的な開催は実行出来てはいないが、在宅支援センターを通じ、細かい情報の交換を行い話し合いの機会を設けている。</p>		<p>市町村との連携を十分に図りたい為、市の関係者に問い合わせるが時間的に都合が合わず、定期的な開催まで辿りつけずにいる。市以外にも町内会などとの関わりを持ち定期的な開催ができるよう今後に期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>在宅支援センターを通じ、細かい情報の交換を行い話し合いの機会を設けている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護事業・成年後見に制度についての理解を図る為の準備期間中である。</p>		<p>利用者の方で、地域権利擁護事業や成年後見人制度の対象者がいる為、研修で理解し職員全員が支援できるように現在は準備段階であり、今後に期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員全員が内・外部での研修会、勉強会等で、高齢者虐待について学び、虐待が起きないように相互に注意し防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に事業所の取り組みや本人・家族の意向を確認し、ケアの方針を決め、対応する旨を説明している。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に、ホーム便りを発行し利用者の生活状態や職員の異動等を報告している。又、必要時においては、随時電話で連絡し報告を行っている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に利用者の訴えや要望を聞き取れる目安箱を設置しているが、現在までに訴え・要望等の意見が聞かれずにいる。また、定期的に、第三者(オンブズマン)の方がホームへ来所し利用者の訴え・要望を十分に聞き取りケアの質の向上に繋げている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	以前、家族より職員の異動によって、利用者・職員・家族間での信頼関係作りが難しいと言う意見から、極力最小限の異動を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会になるべく多くの職員が受講できるようにしている。又、研修報告会等は毎月、部門会議で開催している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人(近隣施設外)のグループホーム職員の交換現場実習を開催し、質の向上に繋げている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用していたサービス事業者から情報を得ている。又、やむを得ず、すぐに入居した場合、家族から情報を収集し安心感を持ってもらうようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者のADL・QOLを活かし、職員と生活の場・時間を共有し過ごしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の生活状態の把握を十分に行い必要時において、ケアの見直しを行い随時検討している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的に、ケアカンファレンスを開催し、介護計画書の作成を行っている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員が情報確認し、家族や本人の要望を取り入れ、期間が終了する前であっても随時、検討し見直しを行っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、家族の状況に応じ、通院や送迎等必要な支援を行い、個々の満足を高めるように支援努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々のかかりつけ医を把握しており、家族同行の受診を基本としているが、不可能な時には、必要時に応じ職員が代行している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人・家族の意向を聞きながら、主治医とも相談や話し合える環境にある。現段階では、ホーム側が対応できる支援体制・方法を検討している。		研修会・勉強会等を開催しターミナルケアに向けた取り組みの準備段階である為、今後に期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の尊厳を十分に活かした声掛けを行っている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースに合わせるなど、個々の状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>調理全般は委託業者へ依頼し調理しているが、簡単な料理(ご飯・味噌汁)等は、利用者と職員共に一緒に作っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>職員が一方的に入浴日を決めず、利用者のその日の状態・希望を確認し随時入浴を実施している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>残存能力を発揮してもらえるように、個々の趣味・得意分野を把握し日常的に活かした役割を見つけ出している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>季節を肌で感じてもらい心身の活性化に繋がるように日常的に散歩・買い物等に積極的に出掛けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体・精神的拘束に関する勉強会・研修会を開催し、職員間での意識の共有化を図っている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は、安全面に配慮し自由な暮らしを支援している。又、夜間は、防犯の為施錠している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、消防関係、民生委員、地域住民の方々と共に消防避難訓練を行う等、地域住民の協力のもと、取り組んでいる。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや水分量に関しては、必要な量を把握し、行っている。又摂取量の低下の利用者に関しては、時間をおき、補食する等の対応を行っている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>職員・利用者共に、うがい・手洗いの対応が徹底している。又、感染症マニュアルを作成し、職員が共通した対応を取っている。予防接種等も定期的に家族の同意のもと実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビング・フロアの飾りつけ等利用者の手作りであり、家庭な雰囲気になっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具を用意し、使い慣れた身の回り品を配置、利用者の居心地の良さに配慮している。</p>		

 は、重点項目。